

# 若干の動詞パターンとその出現頻度

飯 田 鉄 夫

## 1 動詞パターンのもつ意味

英語動詞には that 節と SVO to do, SVO C の両方のパターンをとる動詞がある。Borkin (1973) (また稲田 (1989)) によると, このパターンは微妙な点で意味が異なるという。これは一般的に that 節, SVO C パターンのもつ固有の意味からして予想できる点であるといえる。本稿では, 幾つかの動詞のパターン — 直接話法 (以下(a) “...” で示す), (b) that 節, that が省略された that 節 (以下(c) (that) 節, で示す), (d) SVO to do, その受動態 (以下(e) S be ~ed to do, で示す), (f) SVOC, その受動態 (以下(g) S be ~ed C, で示す) — が資料においてどのような頻度割合で出現しているかを見る。そしてこの割合がどの程度動詞のもつ意味と関連があるかを考察する。

一般的に that 節のもつ意味は, 思考, 発言の内容をひとつの抽象的なまとまりとして把握することである。(ただしこれは内容が抽象的であるという意味ではない。) したがってある動詞が that 節をとるかどうかは, この意味を包含するかどうかによると言える。SVOC の構文のもつ意味は多分に主観的, 感覚的なものである。

(a) Everybody could see that he was critically ill.

(d) I saw him cross the intersection.

(f) I saw him crossing the intersection.

(a)においては, that 節は一つの抽象的なまとまりと考えられているため, 現実の視覚としての see の意味と合わない。このため視覚の面がやや希薄であり, メンタルな意味が see に加わる。すなわち, 石橋 et al. (1966: 571) の言うように, 「具体的な視覚の働きと, 無形的な知覚作用とを兼ね, 'noticed and understood' を意味する...」のである。視覚的な要素が強い場合でも, 多かれ少なかれ「精神的知覚」の語感がある。これにたいして(d), (f)においては視覚的な面が強調される。とくに(d)よりも(f)のほうがその面は強いと言える。パターンのもつ構造的な意味が, 動詞の意味に影響をあたえる。

とすれば, 動詞の持つ主要な意味が, この構造的意味と合致する動詞は, 実際の資料における出現頻度が多く, 周辺的な意味である場合は, 出現頻度が少ないことが予想される。以下各動詞の出現頻度, 割合と動詞の意味との関係を考察する。

## 2. 動詞のパターン別頻度・その割合

意味的に(i)「伝達」の意味を持つ動詞 declare, announce, report (ii)「思考・認識」の意味を持つ動詞 believe, find, understand, consider について, (a) “...” , (b) that 節, (c) (that) 節, (d) SVO to do, (e) S be ~ed to do, (f) SVOC, (g) S be ~ed C の出現頻度およびその割合, (a) “...” , (b)+(c), (d)+(e), (f)+(g)の出現頻度および割合を調査した。この結果が次の表である。なお資料は *Time*, *The Washington Times*, Conan Doyle の作品である<sup>1)</sup>。

(表)

	declare	announce	report	believe	find	understand	consider
(a) “...”	26	0	4	14	0	1	0
“...” %	38.8	0	8.7	5.8	0	1.2	0
(b) that節	29	54	35	97	79	79	5
that節 %	43.3	87.1	76.1	40.4	25.9	97.5	8.2
(c) (that)節	1	8	0	110	8	0	0
(that)節 %	1.5	12.9	0	45.8	2.6	0	0
that節+ (that)節	30	62	35	207	87	79	5
that節+ (that)節 %	44.8	100	76.1	86.2	28.5	97.5	8.2
(d) SVO to do	1	0	0	4	3	1	5
SVO to do %	1.5	0	0	1.7	1.0	1.2	8.2
(e) S be ~ed to do	0	0	7	15	6	0	2
S be ~ed to do %	0	0	15.2	6.3	2.0	0	3.3
SVO to do+ S be ~ed to do	1	0	7	19	9	1	7
SVO to do+ S be ~ed to do %	1.5	0	15.2	8.0	3.0	1.2	11.5
(f) SVOC	9	0	0	0	200	0	29
SVOC %	13.4	0	0	0	65.6	0	47.5
(g) S be ~ed C	1	0	0	0	9	0	20
S be ~ed C %	1.5	0	0	0	3.0	0	32.8
SVOC+ S be ~ed C	10	0	0	0	209	0	49
SVOC+ S be ~ed C %	14.9	0	0	0	68.5	0	80.3
総 合 計	67	62	46	240	305	81	61

○割合は各動詞の総出現頻度数に対する各パターンの出現頻度数の割合

### 3 動詞の意味とパターン

各動詞を意味とパターンの関係を、例文と共に示す。

**declare** 67例は、Time 系資料 (*Time* + *WT*) 64例、Conan Doyle 系資料 3例であり、時事英語資料に圧倒的に多いことがわかる。意味は「announce openly, say emphatically」<sup>2)</sup> であるから、当然「内容の伝達」から that 節が要求される。稲田 (1989:152) によると、that 節が「...伝達動詞として用いられ、事実の報告に近い」のにたいして、SVOC には「...遂行動詞として使われ、主語がこの文を発した時に、「宣言」に伴う行為が遂行されたのである」と述べる。すなわち主観的な要素が介在するということになる。一般的に主語自身の動詞行為がCにまで主観的なものであれ及ぶと言える。おそらく that 節、SV to do のように that, to が介在せず動詞と直接的に結び付いているということに起因するためであろう。以下例文を示す。

- (a) Pronouncing himself “totally exonerated,” North declared, “I’ve had my last hearing.” (*Time* 9/30/1991)
- (b) Thompson declares that Learnfare “is encouraging teens to return to school and to attend regularly.” (*Time* 8/19/1991)
- (c) The army immediately declared it had the Tigers on the run and launched an ambitious offensive dubbed Lightning Strike, .... (*Time* 9/16/1991)
- (d) Such people are complaining of being treated as what they declared themselves to be. (*Time* 9/23/1991)
- (f-1) He declared himself the guardian of democracy and ... (*Time* 9/2/1991)
- (f-2) ..., but the Supreme Court cleared away those obstacles when it declared the gag rule constitutional on May 23. (*Time* 8/5/1991)
- (g-1) ... and Long Island beaches have been declared temporarily off limits to the swimming public because of tidal pollution. (*Time* 1988)
- (g-2) In West Germany 35,000 to 50,000 landfill sites have been declared potentially dangerous because .... (*Time* 1988)

(a)~(c)においては、主語が事実（と思われること）を述べているにすぎないのにたいし、(f-1~2), (g-1~2) がいずれも主語の「宣言」が原因でCの状態が惹起されている。この「伝達」と「遂行」の二つの要素が、that 節と SVOC のパーセントが44.8%, 14.9%と多い理由である。

**announce** declare と同様 Time 系資料が62例中60例を占める。しかし(a)直接話法が見られない。また SVOC, SVO to do が見いだせないことである。これは稲田 (1989:152) で述べられているように、announce が「固有の意味が伝達的であるため、...」と考えられる。直接話

法も見られないのも、このことと関係があるだろう。直接話法は不可能ではないにしても、「発表する」とは「公けに伝える」意味であり、伝える言葉よりもその内容に重点がおかれるのは自然であるからである。

(b) ...; in Stanford, Calif. Conley announced last May that she was quitting the faculty ... (*Time* 9/30/1991)

(c) When I announced I was running for President, I said .... (*Time* 1988)

**report** 46例見いだされ、that 節が76.1%と多く、それに次いで S be ~ed to do, “...” と続く。伝達の意味が強く、眼前の情景を伝えるものではない。

(a) “Yazov did not deny it,” he reported. (*Time* 9/2/1991)

(b-1) (it be ~ed that (1例) を含む) ...

TASS, the Soviet news agency, reported falsely that Gorbachev was ill and .... (*Time* 9/2/1991)

(b-2) It should have been reported that the committee report accompanying the resolution stated: .... (*WT*)

(e) Nine students were reported to be pouring into German-language classes at UCLA, .... (*Time* 1988)

**believe** 240例を数えるが、圧倒的に(b), (c)の that 節が多く、合計86%を占める。残りは不定詞構文である。「信じる」と言う意味は、必然的にそのまとまった概念としての思考内容を必要とする。眼前のことについての「今信じる」という認識を述べることはあまり多くはないはずである。したがって(f), (g)とはそう相性が良くないということとなる。また SVO to do も同様に考えられる。(d), (e)は可能ではある。(e)のような受動態は上記の制約が弱い可能性がある。それは思考の主体としての主語が不在であることによるものであろう。この点に関しては特別の考察が必要であろう。

(b) I do believe that it's very important to strengthen the development of a market economy and joint ventures; .... (*Time* 9/30/1991)

(c) Some experts believe anger is a vastly overrated asset. (*Time* 9/16/1991)

(d) In 1981 practically every economist in the country believed such a result to be strictly impossible. (*WT*)

(e) ... search secret files that are believed to exist .... (*Time* 9/16/1991)

**find** 意味自体が「...であるとわかる」であるから、当然実際の場で知覚する、そうでなくても体験的に知覚する場合と、あるまとまった概念を調査などによって見いだす、という場合に別れる。当然前者は SVO, 後者は that 節で表されることは予想される。実際のパーセントも、68.5%と28.5%と高率である。

- (b) ... other research found that elderly black men are twice as likely to develop tuberculosis .... (*Time* 9/16/1991)
- (c) When he picked himself up he found he was on Hampstead heath, .... (*Red Circle*)
- (d) ... he found them to be yearning for the affection and closeness ...(WT)
- (e) Though the MIAI's new 120-mm cannon was found to be lethal at 3,500 yds, for example, targets were difficult .... (*Time* 8/26/1991)
- (f-1) ... Bush may find himself on the losing side. (*Time* 9/30/1991)
- (f-2) Some find the material offensive, ... (*Time* 9/23/1991)
- (f-3) ..., liberal American Catholics find themselves playing catch-up with their Protestant soul mates). (*Time* 8/26/1991)
- (g-1) .... he was subsequently found guilty of obstructing Congress and mutilating government. (*Time* 9/30/1991)
- (g-2) ..., and at lunch hour he could be found munching a vegetarian meal at his favorite West Side cafeteria. (*Time* 8/5/1991)

また that 節をがまとまりのある内容であるということは、客観的な内容であることを示す。すなわち調査のあとで、「ある内容が明らかになる」ということを示す。このため Time 系の資料では、主語が調査（機関）、研究者であることが多い。Conan Doyle 系の資料では単に 2 例であり、そのほとんどは主語が I である。これにたいして、Time 系ではこのような例が 30 例にも達する。例えば、the estimate, a panel of leading physicians, one study, the committee, no-penalty testing, ABC poll などである。逆に (g-1) の例のように、S V oneself C は、Conan oyle 系資料で 27 例、Time 系で 43 例である。これも that 節が客観的な調査の結果としての内容を表すのに対して、SVOC が感覚的な知覚をあらわす場合が主であることを示している。

**understand** 97.5%を that 節が占める。とくに (that) 節も現れない。これは意味的に「理解する」ということは、直接の知覚というよりも、ある内容の思考過程であることを示す。したがって当然 SVOC は一例もみられず、SVO to do が 1 例見いだされるのみである。

- (b) “I understand that you all don't think that I've given you an unqualified endorsement ....” (*Time* 1988)
- (d) “I understand you to say that your room is on the second floor, that there is no entrance from without, ... (*Second*)

**consider** that 節が 8.2%にたいして、SVOC は 80.3%である。これに SVO to do を含めると 91.8%にも達する。これは稲田（1989:151）で言うように、consider 自体の意味が、主観的な判断を重視したものであり、think とちがいで regard ... as ...' の意味をもつ。think の「...と思う」にたいして consider は「...と見なす、と考える」の積極的な意味をもつ。この違いが

that 節より SVOC とより合致する理由であろう。

- (b) Even Arb experts consider that many of the financial practices of B. C. C. I., ....  
(*Time* 8/19/1991)
- (d) ..., the army considers the fall of its leader to be a personal defeat. (*Time* 1988)
- (f) Many scientists consider his intrusion into their domain dangerous .... (*Time* 8/26/1991)
- (g) For decades, the government securities market has been considered the world's safest haven for investors. (*Time* 9/2/1991)

#### 4. 動詞パターンと出現頻度の関係

that 節/(that) 節と SVO to do, SVOC のパターンのいずれをも取ることができる動詞も、実際の出現頻度には偏りがあることを見た。この偏りは動詞のもつ本来の意味とパターンの構造的意味とが合致する場合は、出現頻度の割合が高くなる。declare, announce, report, believe, understand が that 節をとるのを専らとするのに対し, find, consider は SVOC タイプよりの動詞であるといえる。

#### 注

- 1) 資料は *Time* (1991年9月30日号, 9月23日号, 9月16日号, 9月9日号, 9月2日号, 8月26日号, 8月19日号, 8月12日号, 8月5日号, 7月29日号。文中ではそれぞれ *Time* 9/30/1991のように略記する), *The Washington Times* (1991年の記事の一部。文中では WT と略記), *Time* 1988年ハイライト (*Time* 1988と略記) の時事英語資料と Conan Doyle の *Sherlock Holmes: The Adventure of the Abbey Grange, The Adventure of the Red Circle, The Adventure of the Second Stain, The Adventure of the Beryl Coronet, The Adventure of Black Pepper, The Adventure of the Crooked Man, The Adventure of the Devil's Foot, The Adventure of the Dying Detective, The Adventure of the Engineer's Thumb, The Final Problem, The Five Orange Pips, The Adventure of the Golden Pince-Nez, The Greek Interpreter, A Case of Identity, The Musgrave Ritual, The Adventure of the Norwood Builder, The Scandal in Bohemia* である。文中では *Red Circle* のように題名の一部で示す。それぞれ次の CD-ROM を用いた。  
(1991) *The 1991 Time Magazine Compact Almanac*, Compact Publishing, Inc.  
(1992) *The Washington Times (January 1989-December 1991)*, Wayzata Technology  
(1992) *World Library's Greatest Books Collection Ver. 3.0*, World Library, Inc.
- 2) *Webster's New World Dictionary of the American Language (Second Concise Edition)*, Prentice Hall Press, declare の項

#### 参考文献・辞書

- Borkin, Ann (1973) "To be and NOT to be." *CLS* 9 pp. 44-56  
稲田俊明 (1989), 『補文の構造』, 大修館書店  
石橋幸太郎, et al. (1966), 『英語語法大事典』, 大修館書店  
小西友七編 (1980) 『英語基本動詞辞典』, 研究社出版  
Quirk, R., Greenbaum, S., Leech, G., and Svartvik, J. (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*, Longman